

2017年5月14日

福音書からのメッセージ

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

(ヨハネによる福音書 14章6節)

今日読まれた福音書の言葉を、わたしは毎週目にします。桃山基督教会の礼拝堂の正面に二枚の掛け軸がかかっていますが、そのうちの一枚にこの聖句が書かれているからです。

今日、5月14日に桃山基督教会では「伝道開始100年・礼拝堂聖別80周年記念礼拝」がおこなわれます。今から100年前、伏見の地で新たな集まりが生まれ、そして80年前に現在のところに教会が建てられました。いつ礼拝堂につけられたのかという記録はありませんが、かなり昔の写真にも掛け軸は出てきます。きっとたくさんの人たちが礼拝中にこの言葉に心を向け、この言葉に励まされ、この言葉に希望を与えられたのだと思います。

「わたしは道であり、真理であり、命である」。この言葉を、わたしたちはなぜ大切にしているのでしょうか。それはわたしたちが、イエス様に生かされていること、いつも共にいてくださり、支えられていることを実感したいと願っているからだと思います。イエス様が「一緒に行こう」と言ってくださった言葉を思い出し、迷ったときには手を差し伸べ、歩けないときには背負って下さることを信じたいからではないでしょうか。

「わたしは道であり、真理であり、命である」。この言葉はまた、お葬式の時にもよく読まれます。わたしたちはたとえ天



に召されても、道であるイエス様が神さまの元へと導いてくださるから、わたしたちは悲しみの涙を流しながらも、その向こうにある希望に目を向けることができます。

これからもこの教会には、たくさんの方が訪れることでしょう。その方々と一緒に、わたしたちは感じていきたいと思います。道であり、真理であり、命であるイエス様が、いつもわたしたちと共におられるということ。わたしたちに道を示し、わたしたちに真理の光を浴びせ、そしてわたしたちに命を与えてくださる方が、わたしたち一人ひとりの名前を呼び、一緒に歩いてくれるということ。

「わたしは道であり、真理であり、命である」。わたしたちはこれからもこの言葉を胸に、歩んでいきたいと思います。

桃山基督教会、そしてみなさんの上に、神さまの祝福が豊かに与えられますように。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

Tel/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>